

全校生徒の作品の中から、優秀なものを紹介します。四月のお題は、

「春のもの」「<sup>ハル</sup>春ぐ気持ち」「<sup>ハル</sup>緑」「<sup>ハル</sup>三角のもの」です。

月間賞

まっさらな白い手引きに折り目付け春を迎える軽やかな音

二一一 中澤ひなた



第二席

燕が巢 忙しく作る姿見て私は幸せもらっていました

二一三 沖田 希望のぞむ

第三席

桜散り街にはやし囃子が鳴り響く風も従う火伏せのとら虎舞

三一一 高橋 響人

優良賞

桜道今日始まった新学期今年も長い坂道上る

二一一 岩崎 晴斗

道場みちばから見えるやみち矢道※に生える草遅めの春の訪れ感じる

二一一 菊地 茉帆

※弓道場で矢が飛んでいく道筋の砂地の道。

一面を薄桃色に染め上げてはかな儂さ感じるこほ零れ桜は

二一一 佐藤 海憂

暖かな春一番に盗まれる富士の自慢のかんもり白い冠

二一一 中澤ひなた

綿毛飛び息をふくふく君想い遠くの君へ想いふくふく  
見いつけた もうすぐ芽生える桜の子暖かい陽に包まれている  
野球部に入って間もなく試合かよ硬式球が怖すぎる春

二一三 佐藤 春奈  
一一一 野月 楓  
一一二 内藤 海斗

佳作

慣れてきて緩んだ心叱る風 変化の時に傷つかぬよう  
風吹いて桜が散る先君一人桜吹雪に今二人きり  
桜散りピンクが終わり緑くるたくましくなれ雑草たちよ  
前まではただの樹木だったのに今はうつくしピンクの樹木  
ミドリムシ理科の実験でふきとばすミドリムシたちおどろいたよね  
大学生スーツ姿できっちりと変わった姉を見送る私  
夜桜に月光照らしし幻か あやかし達の楽しき夏

三一一 佐藤 優希  
三一一 櫻田 里実  
二一一 大場 北斗  
二一一 加藤 玲希  
二一一 阿部 千尋  
二一一 斉藤 佑果  
一一二 佐藤 里桜

国語科からのアドバイス： 一年生、『岩高短歌』へようこそ！ 二・三年生の歌は、さすがです！色の名前に工夫があつて、素晴らしいです！特に、「月間賞」の中澤さんは、言葉の選び方が知的ですてきですね。みなさんの、さらなる工夫に期待しています。(和)